

11. 配偶者やパートナー、恋人からの暴力について

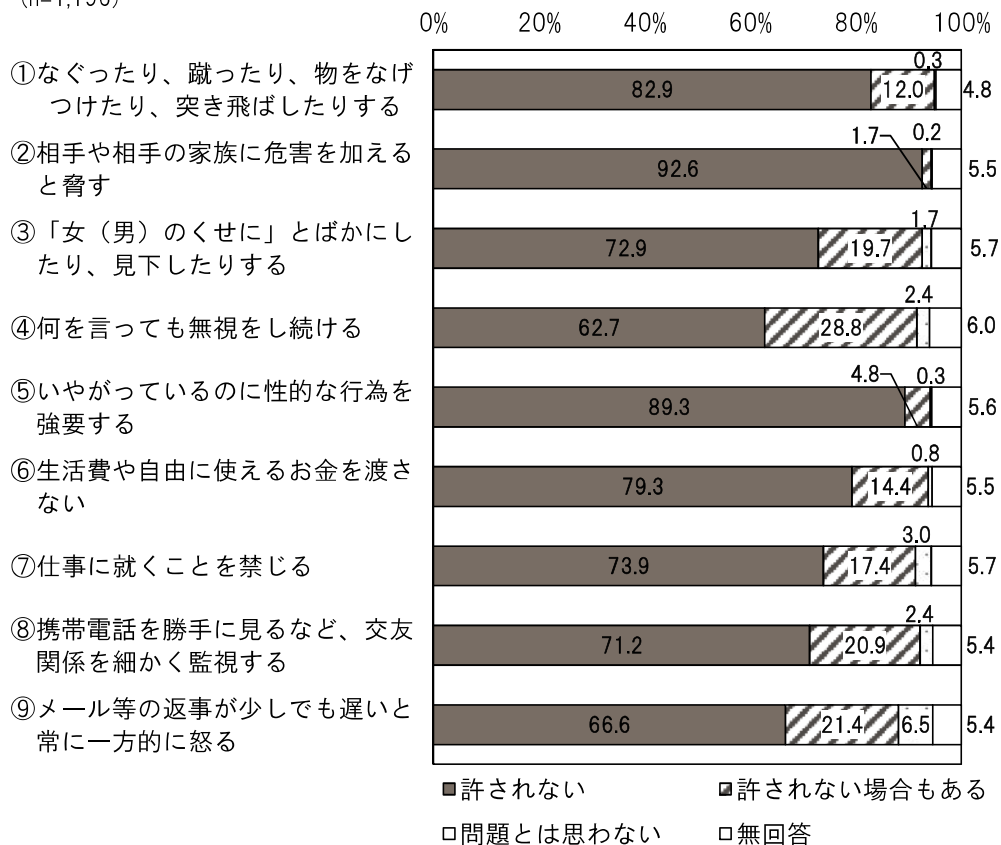
問 18-1 次の①～⑨にあげる配偶者・パートナー、恋人などからの行為に関して、

- (A) あなたの考えを教えてください
 - (B) あなたはそのような行為をした、もしくはされた経験はありますか
 - (C) そのような行為を子ども時代に目撃した経験はありますか
- (A・Cはそれぞれ、あてはまるもの1つに○、Bはあてはまるものすべてに○)

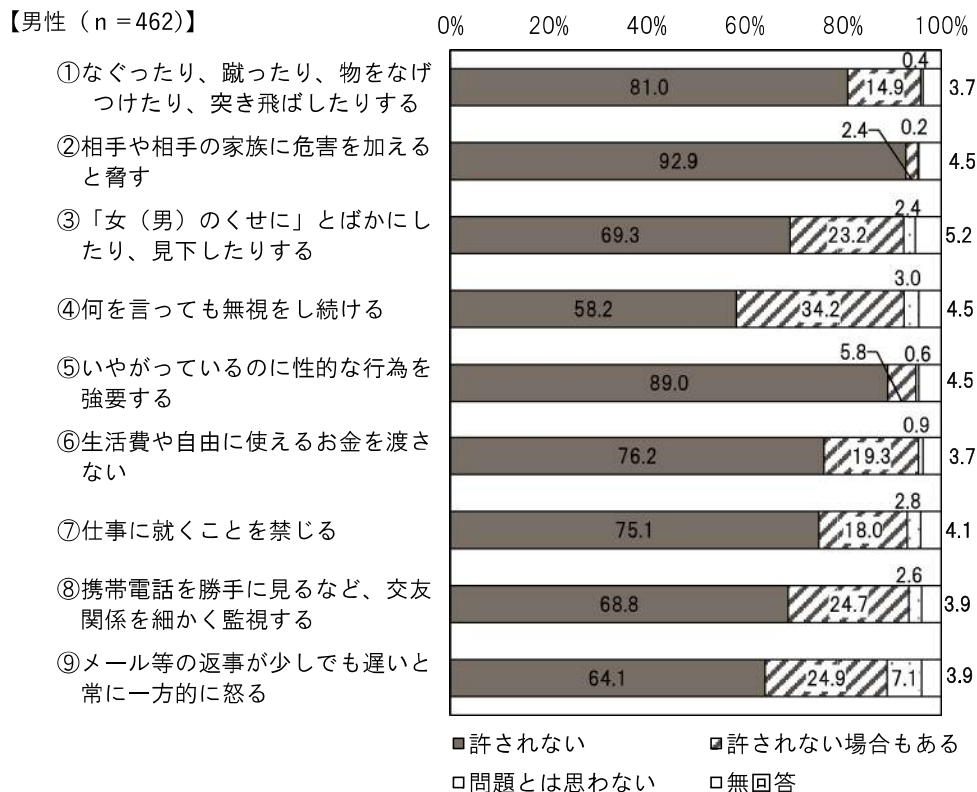
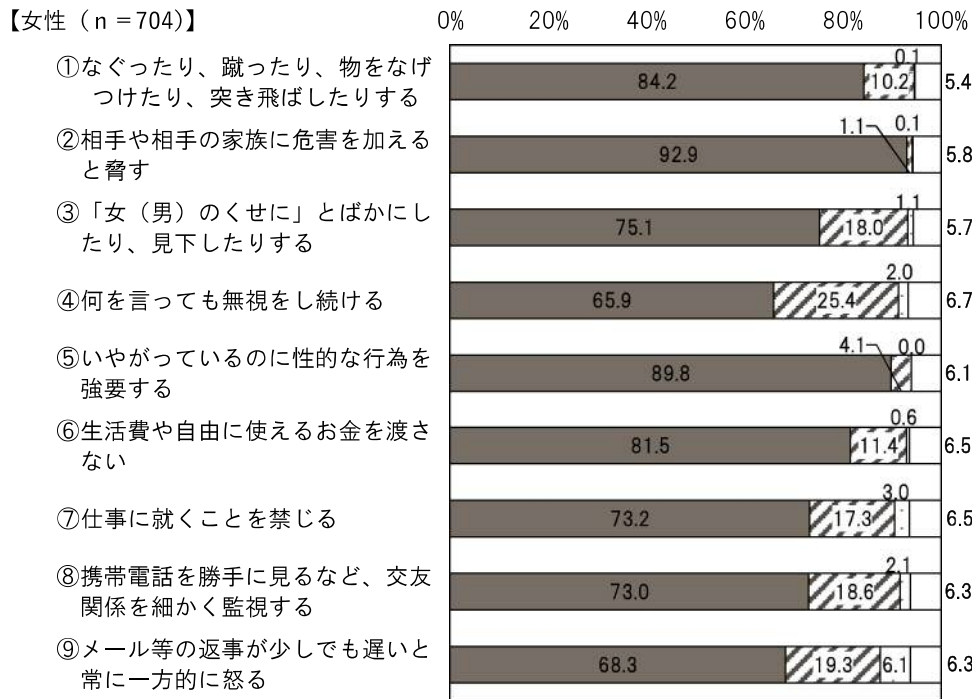
(A) 考え

・配偶者・パートナー・恋人などからの行為に関する考えについては、「③「女（男）のくせに」とばかにしたり、見下したりする」・「④何を言っても無視をし続ける」・「⑦仕事に就くことを禁じる」・「⑧携帯電話を勝手に見るなど、交友関係を細かく監視する」・「⑨メール等の返事が少しでも遅いと常に一方的に怒る」で「許されない場合もある」と「問題とは思わない」の合計が2割以上となっています。

(n=1,196)



- ・性別にみると、男性で「①なぐったり、蹴ったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりする」・「③「女（男）のくせに」とばかにしたり、見下したりする」・「④何を言っても無視をし続ける」・「⑥生活費や自由に使えるお金を渡さない」・「⑧携帯電話を勝手に見るなど、交友関係を細かく監視する」・「⑨メール等の返事が少しでも遅いと常に一方的に怒る」で「許されない場合もある」と「問題とは思わない」の合計が女性よりやや高くなっています。



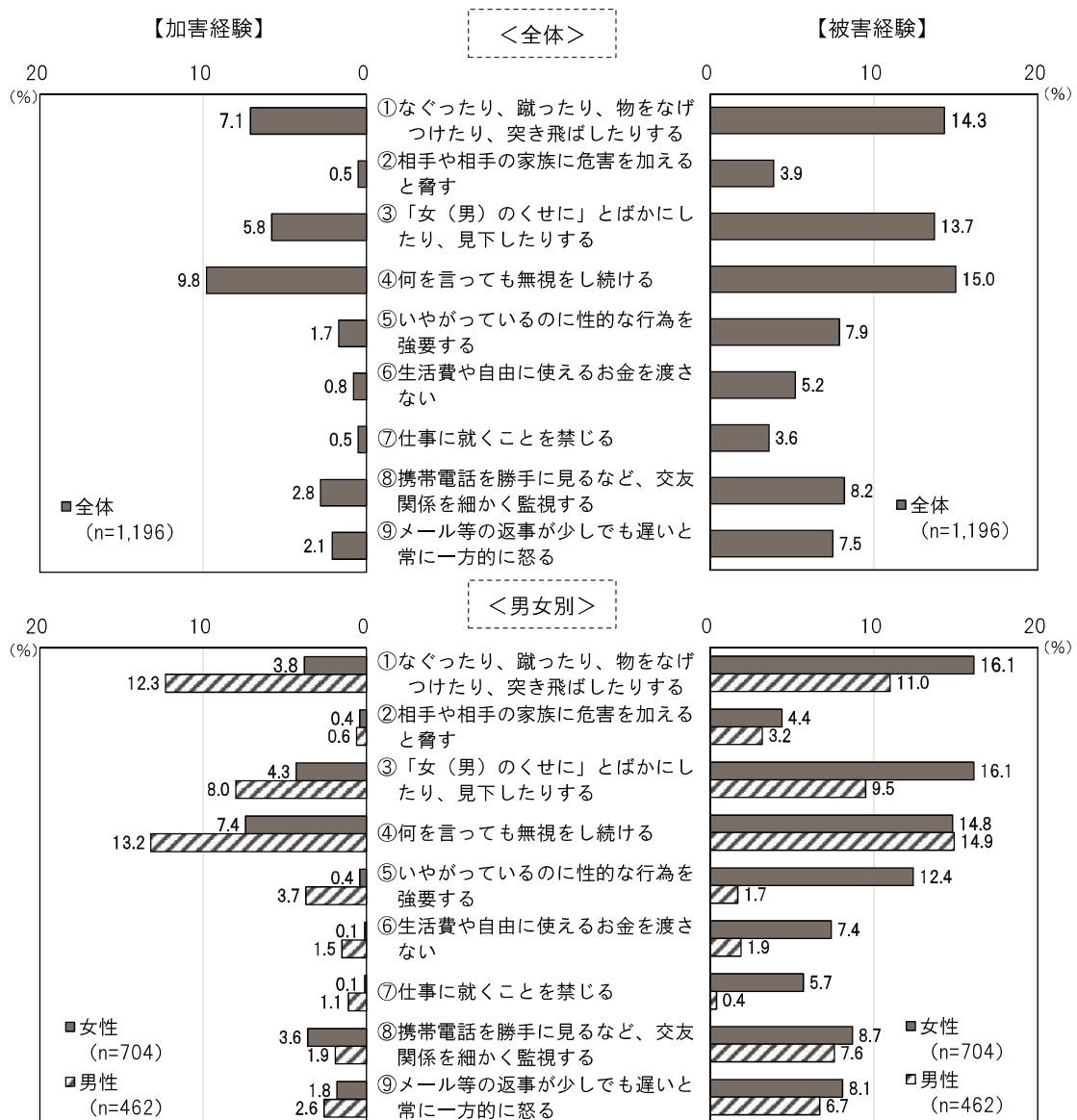
(B) 経験

【加害経験について】

- ・①～⑨の行為において「相手にしたことがある」と回答した人の割合については、「④何を言っても無視をし続ける」が全体で9.8%と1割近くを占め最も高くなっています。
- ・性別にみると、男性で「①なぐったり、蹴ったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりする」、「④何を言っても無視をし続ける」が1割以上を占めており、女性より5ポイント以上高くなっています。

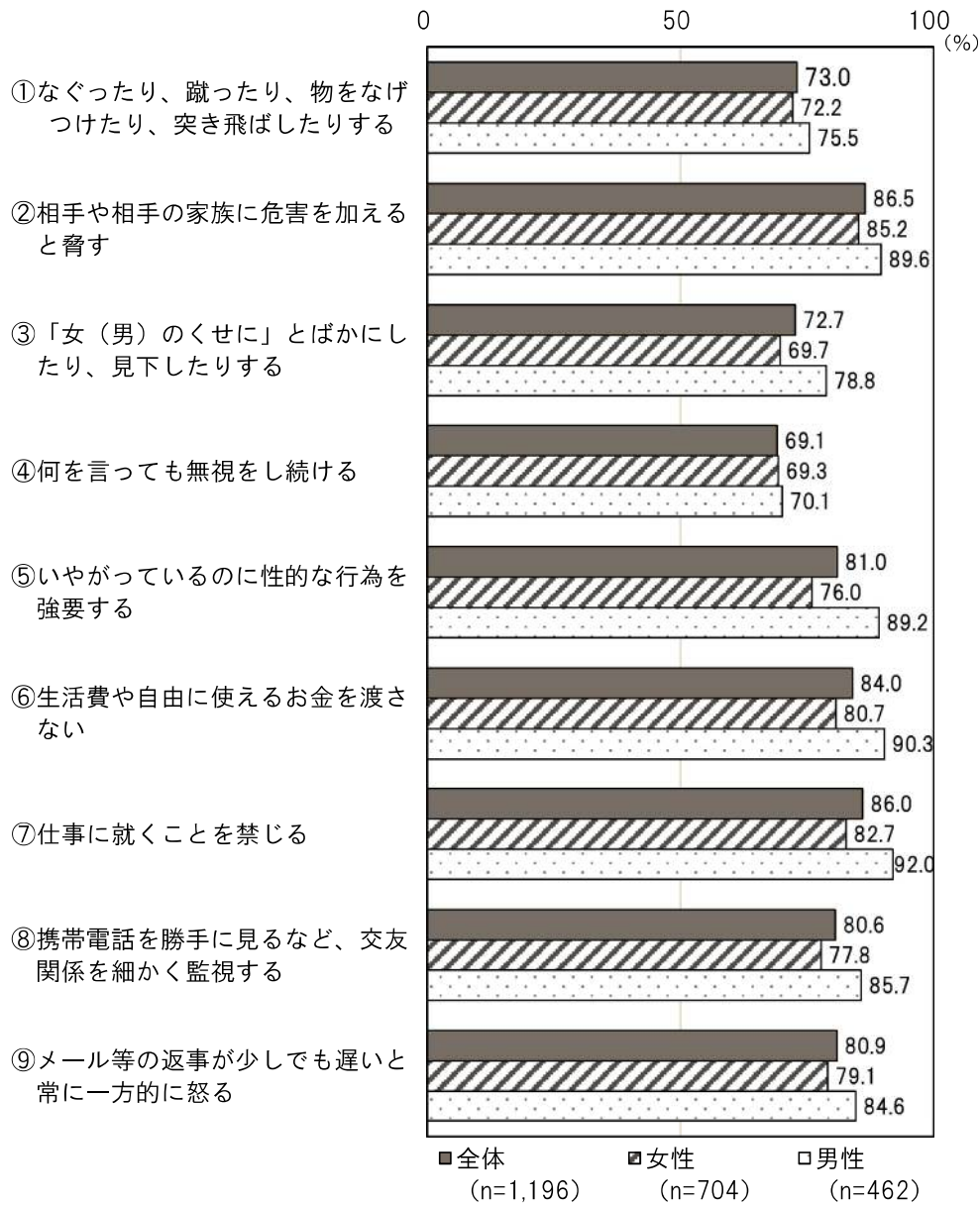
【被害経験について】

- ・①～⑨の行為において「相手からされたことがある」と回答した人の割合については、「④何を言っても無視をし続ける」が全体で15.0%と最も高くなっています。
- ・性別にみると、女性で「①なぐったり、蹴ったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりする」・「③「女(男)のくせに」とばかにしたり、見下したりする」・「⑤いやがっているのに性的な行為を強要する」・「⑥生活費や自由に使えるお金を渡さない」・「⑦仕事に就くことを禁じる」が、男性より5ポイント以上高くなっています。



【加害・被害経験のない割合】

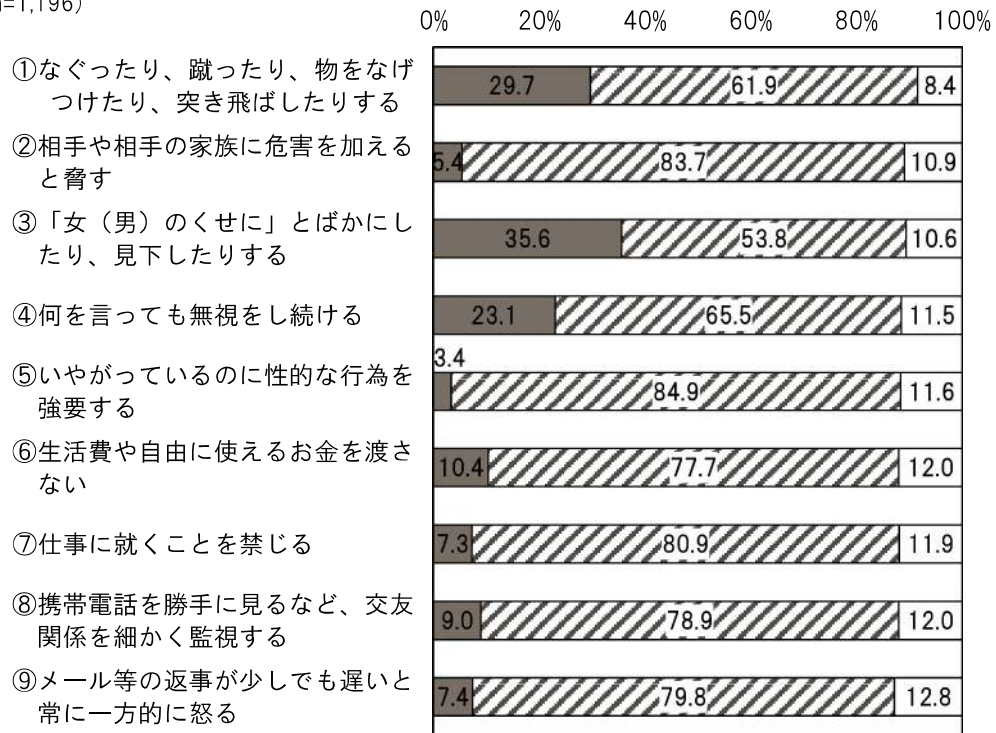
・①～⑨の行為について、加害経験・被害経験のどちらもない人の割合は下記のとおりとなっています。「④何を言っても無視をし続ける」で、どちらの経験もない人の割合が全体で69.1%と7割未満となっています。



(C) 子ども時代の目撃経験

・子ども時代の目撃経験については、「①なぐったり、蹴ったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりする」・「③「女（男）のくせに」とばかにしたり、見下したりする」・「④何を言っても無視をし続ける」で「見たことがある」が2割以上を占めています。

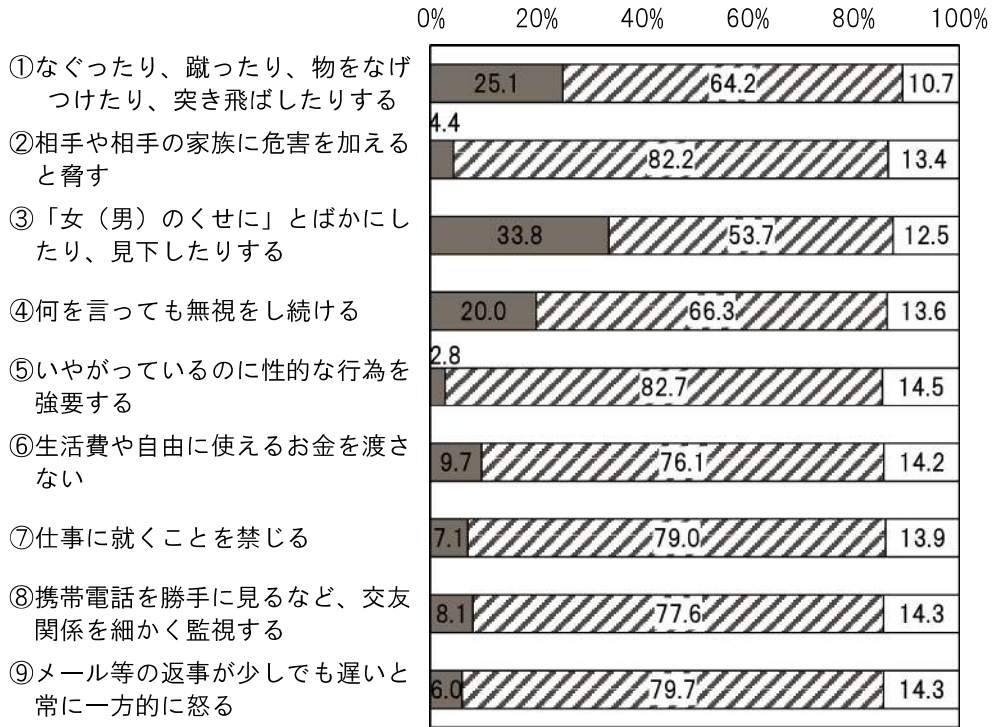
(n=1,196)



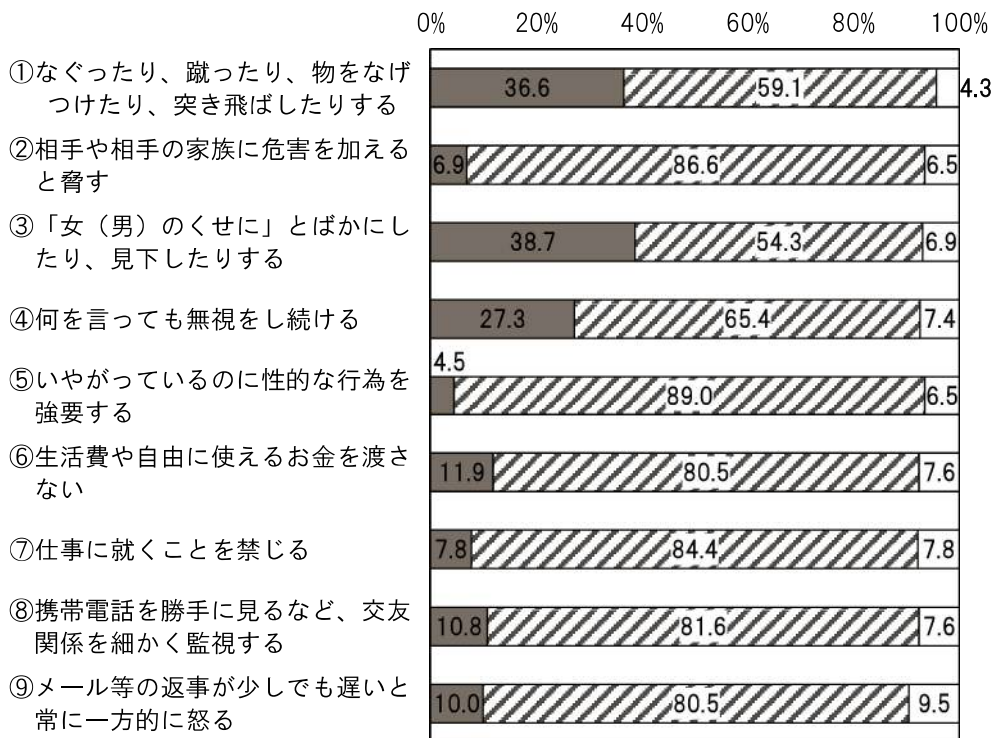
■見たことがある □見たことがない □無回答

- ・性別にみると、男性で「①なぐったり、蹴ったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりする」を「見たことがある」割合が36.6%と、女性（25.1%）より高くなっています。

【女性（n = 704）】



【男性（n = 462）】

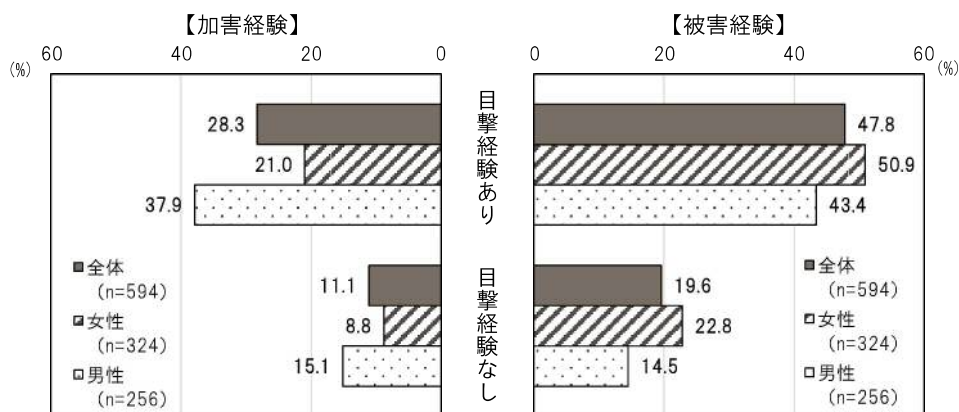


■見たことがある □見たことがない □無回答

【問 18-1 (B) 加害経験・被害経験とのクロス集計】

- ・加害経験・被害経験とのクロス集計をみると、子ども時代に暴力の目撃経験がある人で、暴力の加害経験・被害経験のある割合が、目撃経験のない人よりも高くなっています。
- ・性別にみると、加害経験については、目撃経験のある男性で 37.9%と、目撃経験のある女性（21.0%）より 16.9 ポイント高くなっている一方で、被害経験については、目撃経験のある女性で 50.9%と、目撃経験のある男性（43.4%）より 7.5 ポイント高くなっています。

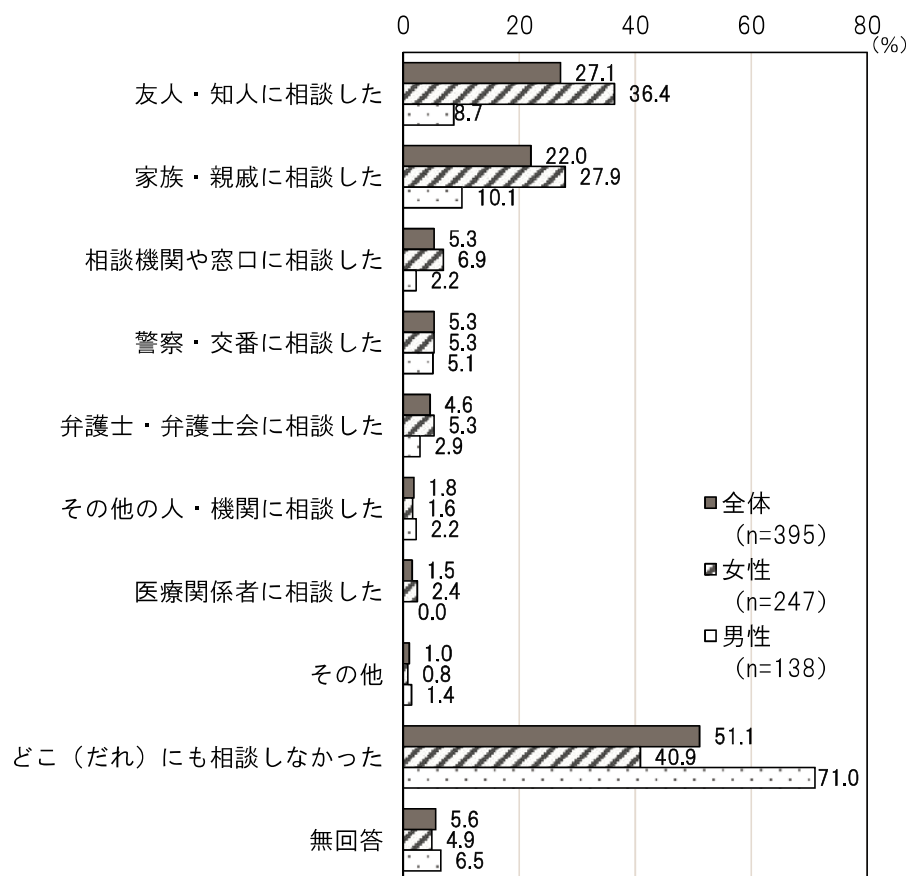
【子ども時代の目撃経験と加害・被害経験について】



(問 18-1 (B) で、ひとつでも「2. 相手からされたことがある」に○をつけた方のみ回答)

問 18-2 配偶者やパートナー、恋人などから受けた行為について、だれかに相談しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・配偶者やパートナー、恋人などから受けた行為についての相談については、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が51.1%と最も高くなっています。相談先については、「友人・知人に相談した」が27.1%と最も高く、次いで「家族・親戚に相談した」（22.0%）となっています。
- ・性別にみると、女性で「友人・知人に相談した」・「家族・親戚に相談した」を回答した人の割合が高く、男性で「どこ（だれ）にも相談しなかった」を回答した人の割合が高くなっています。



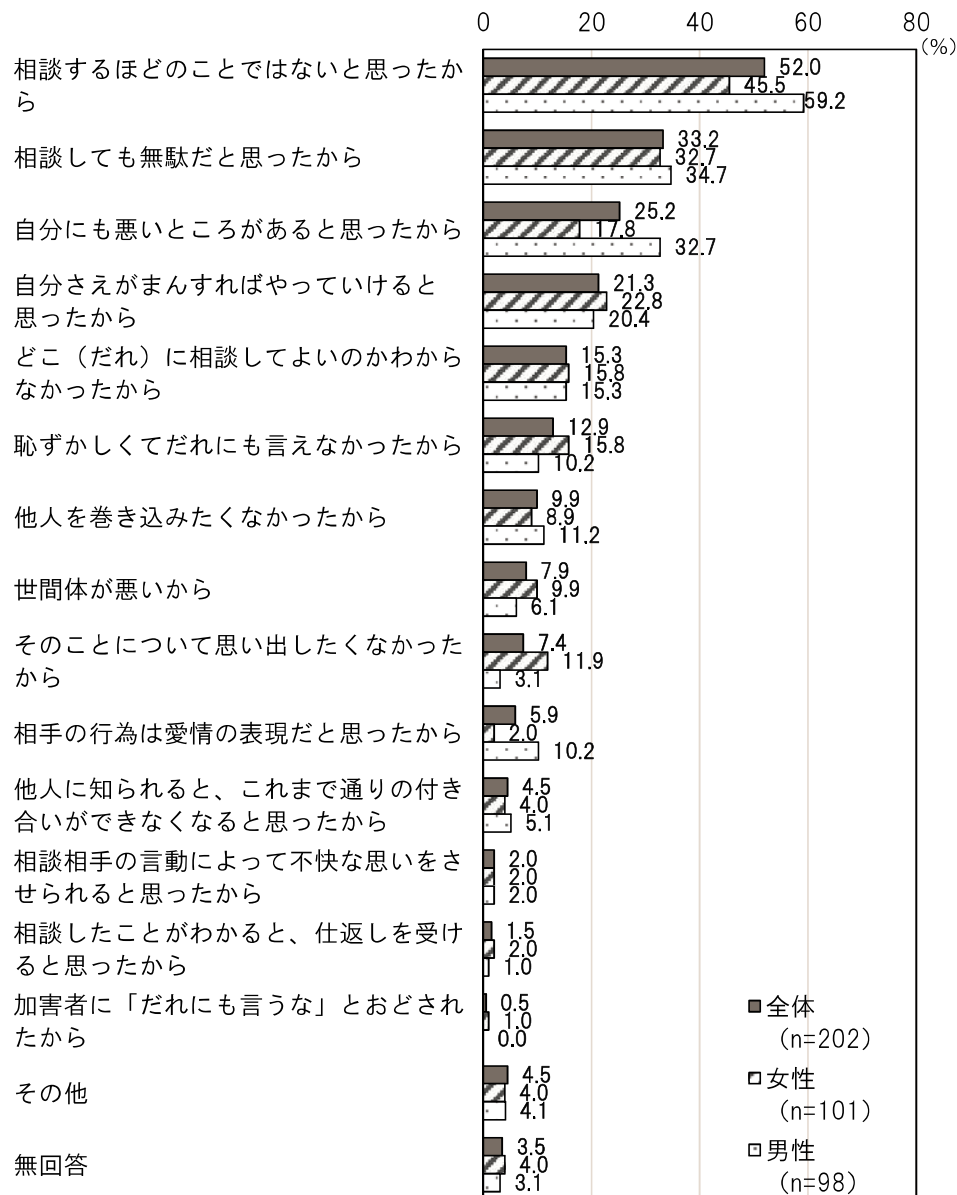
【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、男性で「どこ（だれ）にも相談しなかった」が71.0%と、前回調査（56.3%）より14.7ポイント増加しています。

(問 18-2 で、「9. どこ (だれ) にも相談しなかった」に○をつけた方のみ回答)

問 18-3 どこ (だれ) にも相談しなかったのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・相談しなかった理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」が 52.0% と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」(33.2%)、「自分にも悪いところがあると思ったから」(25.2%) となっています。
- ・性別にみると、男性で「相談するほどのことではないと思ったから」・「自分にも悪いところがあると思ったから」を回答した人の割合が高くなっています。



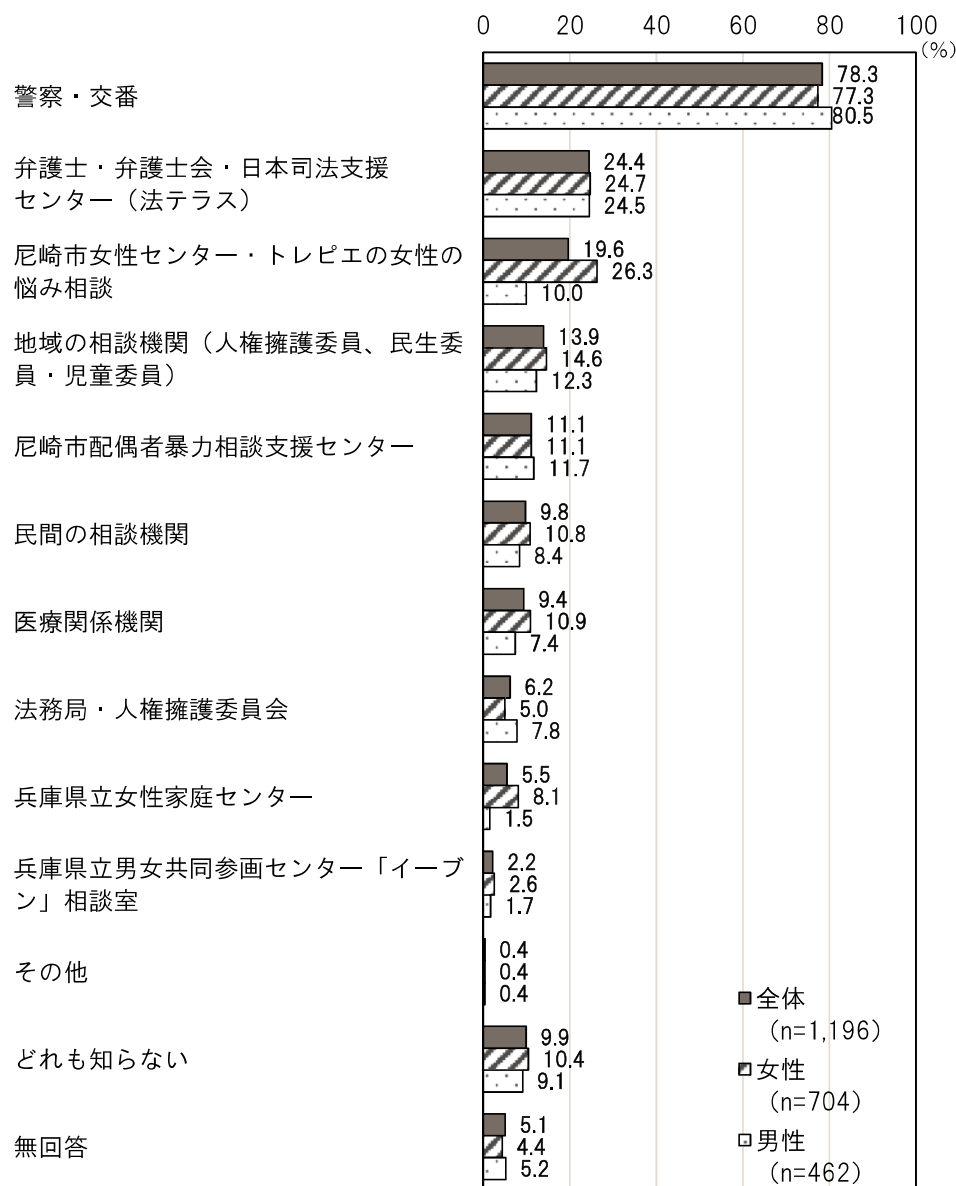
【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、全体で「自分さえがまんすればやっていけると思ったから」が 21.3% と、前回調査 (34.0%) より 12.7 ポイント減少しています。

問 19 あなたやまわりの方が配偶者やパートナー、恋人などからの暴力の被害にあわれたときの相談機関や窓口として、知っているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- ・暴力の被害にあった時の相談機関や窓口として知っているものについては、「警察・交番」が 78.3%と最も高く、次いで「弁護士・弁護士会・日本司法支援センター（法テラス）」（24.4%）、「尼崎市女性センター・トレピエの女性の悩み相談」（19.6%）となっています。
- ・性別にみると、女性で「尼崎市女性センター・トレピエの女性の悩み相談」が 26.3%と、男性（10.0%）より高くなっています。

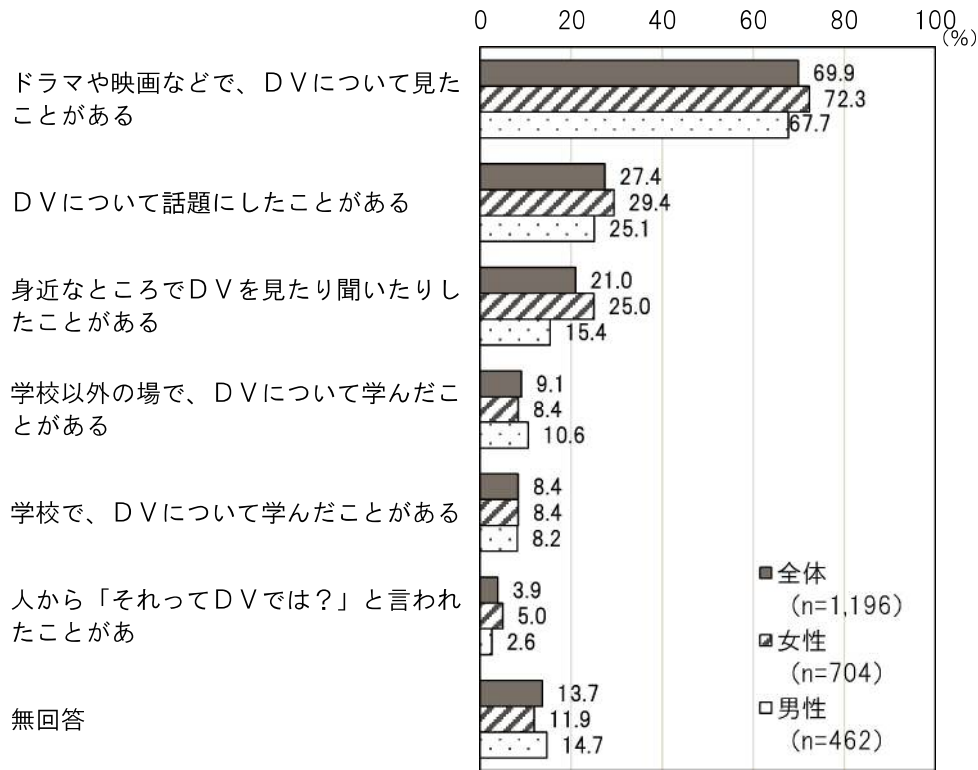


【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、男性で「弁護士・弁護士会・日本司法支援センター（法テラス）」が 24.5%と、前回調査（32.4%）より 7.9 ポイント減少しています。

問 20 DV（配偶者やパートナー、恋人などからの暴力）について、見たり聞いたりした経験について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- ・ DVを見聞きした経験については、「ドラマや映画などで、DVについて見たことがある」が69.9%と最も高く、次いで「DVについて話題にしたことがある」（27.4%）、「身近なところでDVを見たたり聞いたりしたことがある」（21.0%）となっています。
- ・ 性別にみると、女性で「身近なところでDVを見たたり聞いたりしたことがある」が25.0%と、男性（15.4%）よりやや高くなっています。



IV. 自由意見

1. 記入状況

有効回収票 1,196 件のうち、127 件に自由意見の記入がありました。性年代別での自由意見記入状況は下表のとおりです。

【性年代別自由意見記入状況】

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
女性	回収数	2	56	105	121	129	137	153	1	704
	記入数	1	6	9	14	11	16	17	-	74
	記入率	50.0%	10.7%	8.6%	11.6%	8.5%	11.7%	11.1%	-	10.5%
男性	回収数	1	28	59	79	93	92	110	-	462
	記入数	-	2	13	10	5	12	10	-	52
	記入率	-	7.1%	22.0%	12.7%	5.4%	13.0%	9.1%	-	11.3%
その他	回収数	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	記入数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	記入率	-	-	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	回収数	1	1	1	2	3	1	2	1	12
	記入数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	記入率	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	回収数	-	-	-	-	-	-	-	17	17
	記入数	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	記入率	-	-	-	-	-	-	-	5.9%	5.9%
合計	回収数	4	85	165	203	225	230	265	19	1,196
	記入数	1	8	22	24	16	28	27	1	127
	記入率	25.0%	9.4%	13.3%	11.8%	7.1%	12.2%	10.2%	5.3%	10.6%

記入いただいた自由意見を内容ごとに分類したところ、「行政・施策に関する意見・期待」についての意見が最も多く、次いで、「調査に対する意見」、「男女の役割に関する意見」となっています。内容が複数にまたがる場合は、複数の分類上に計上しているため、総計と自由意見の記入数は一致しません。

【自由意見の分類】

分類		件数	比率
男女共同参画	行政・施策に関する意見・期待	40	28.2%
	男女の役割に関する意見	18	12.7%
	子育て・教育に関する意見	14	9.9%
	施策の周知に関する意見	11	7.7%
	LGBT・多様性に関する意見	11	7.7%
	労働・職場に関する意見	9	6.3%
	家庭生活に関する意見	6	4.2%
	地域活動に関する意見	2	1.4%
	男女共同参画に関する意見 計	111	78.2%
その他	調査に対する意見	26	18.3%
	その他	5	3.5%
	その他意見 計	31	21.8%
総計		142	100.0%

2. 代表的な意見

①行政・施策に関する意見・期待

20代男性	現代日本において女性とは子供老人と並ぶ弱者の記号である。わかりやすい身近な事柄として女性専用車両という弱者を守るための公共機関がある。仕事に関しても妊娠など必ず休むべき事象があり男性と比べ総労働時間が減る。同じ能力を持つのであれば男性優位である。しかしそれでは女性の自尊心が満たせないで迷惑にならない程度に女性に気を遣った制度が必要であるため男女共同参画による活動を頑張ってもらいたい。
30代女性	このような調査をするまでもなく、男女平等だと思えるような社会になれば良いと思います。あたりまえになるのはまだまだ時間が必要かと思いますが…。
40代男性	「誰かが男女参画を進めてくれる」のではなく、「自分が進める」という意識を持つ仲間が増えることで、多様性相互理解社会になると思っています。性別、出自にとらわれない。偏見が無い事が当たり前になるように。様々な人が参画できる 企画が理想ですが、難しいので、もっと気軽に参画出来るようにスマホやPCを用いた、楽しみながら学べる（多様性がある事を知れる）アプリがあって、そのアプリ内ポイントを現実の尼崎市内で使えるクーポンにする等の「気軽」「知れる」「楽しい」「お徳感」アプリがあればと思います。
50代女性	20年以上も前から、男性社会だとか、男性も育児や介護にもっと参加した方がいい、等新聞やテレビでも見聞きしていますが、何年経ってもあまり変化がないものだと思います。私は中学校～大学まで学校で英語を学びましたが全く話せません。子供たちの世代はペラペラになっているものだと思っていましたが、そうなっていません。同様にするの何ですが、多分、この先もずっと、男女共同参画といいながら、何も変わらないような気がします。残念ですが。
60代女性	30年前に比べれば、随分男女格差については向上してきたと思う。少子化についても、やはり女性の負担が高いので出産に対する考えが消極的にならざるをえない。保育サービスの問題もしかり。尼崎市は、役所関係は女性の活躍も見られる。(市長についても)一般職場はまだ男女格差があるのでは? 経済的(収入格差)があるので、種々の点での差を実感します。
70代以上女性	個性と能力を十分に発揮する事が出来る社会実現をめざす計画を取り組んで頂くことは大変結構で協力させて頂きたいと考えております。これが百歳の時代に向け高齢者の働く場所も考えて頂けたら健康増進、社会に居場所でき、若い方達の考え方も理解出来、若者に迷惑かけず、何かの手助けが出来るのではないかと思います。

②男女の役割に関する意見

30代女性	男性だから、女性だからという概念がなくなり、それぞれの個人の持つ特性を活かした社会、生活になるように願います。性別で考え方や生き方がしぼられて欲しくない、という思いがあります。
40代女性	希望する女性が社会で活躍できる場所を増やすことはとても大切だと思いますが、全ての女性が社会へ出ることを強制されるようになるのは違うと思います。生物学的に子供は女性にしか生めない。いくら男性が育休をとっても母乳は男性からは出ない。それも事実であり、女性に負担がいくのも事実。そこで男性の協力も必要だが、女性に負担がかかっている事実、全ての人が女性から生まれてきたこと、そこに敬意を払える社会になってほしいです。
50代女性	「男女平等及び男女雇用均等法」とは名ばかりで公的にも私的にも男性有利になっています。ただし今の若者20～30代においてはその傾向があまりなくて男性がやさしく女性を尊重しているように思えます。昭和世代の男性はダメですね。女性を大切にしない傾向にあります。若い男性(20～30代)は男女の役割に「違い」を認めない。できる方がやるスタイル。
60代女性	男は子どもを産めない、女は子どもを産める。それを思えば男女の役割は自ずとわかると思っています。あまりにも便利を追求し、贅沢になってしまったのではないのでしょうか。考える時だと思います。
70代以上男性	時代が変わり、女性の地位が向上したが、戦前の教育では男は男らしく、兵隊は男性中心、女性は家を守る。女性にできない事があるが、男女お互い尊重しあうことです。女性の権利について行きすぎた事が最近多い。

③子育て・教育に関する意見

20代女性	育児や家事に積極的に参加に関して、男性に積極的に参加してもらっただけではダメだと思います。理解や知識がないからです。義務教育に導入頂きたいです。“生理のことは知らない。”“出産後について知らない。”知らないからしないのです。わかっただけでは多少の思いやりや、行動ができると思います。それとしてから男性の育休をとった方がいいです。
30代女性	性別に囚われず個人のやりたいこと、得意なことが活かせる社会になってほしいと思います。そのために現在の小・中学校の義務教育の授業だけではなく、社会全体を知ることのできるような講義や体験を脳の吸収が良い小さい頃からふれ合える仕組みがあると良いと思います。
60代女性	子どもの暴言に対して、ちゃんといけない場合は叱る、教える。そういうことができる大人、又、教師であってほしいとつくづく思う。子どもの更生からみて、きちんと判断できる人になってほしいので
70代以上男性	私は、S56年、子供が生まれた為、10日間の休暇を申し出た所笑いにされました。今は時代も変り休暇も取れる時代です。ぜひ男性も育児に参加するよう願います。
70代以上女性	子ども時代まだまだ男尊女卑が残る家庭であり社会でした。男性も女性も共に(平等)人間であることがようやく新しい生活様式の中に浸透しつつあります。喜ばしい時代になりました。まだまだ古いお考えの方がいらっしゃいますので幼児期の教育から男と女という区別ではなく人としてどう生きていくのかを指導すべきだと思います。

④施策の周知に関する意見

10代女性	「男女共同参画」について、中学では習うことが可能なのに、高校・大学（専門・短大）では深く知ること（そのような機会）が減るため、身近なものに感じていなかったけど、細かくみていくと、日常の中にもあるので、しっかり考えてみたいと思いました。そのような機会があることを地域で周知していければ良いと思います。
30代女性	市民に対してご意見をとの調査ですが、実際女性市長と男性市長でおつとめの方は何か違いを感じていらっしゃるのでしょうか。この計画がいつからのものなのか、調べてもいませんがどれぐらい効果があり、何が変わったのかに関しては興味があります。ホームページや市報でのご報告、お待ちしております。
40代女性	問14では言葉は知っていても内容を知らなかったり、言葉すら知らない事ばかりでした。多いと思いました。又DV等の困った時に電話したらいい場所を知らないものだと思います。私には相談できる友だちが沢山いるのでいいのですが、相談する人がいない方は、しんどいだろうと改めて感じました。
40代男性	目的・目標と、現状が解らない。結果や市政等、HPを見ない、見られない人への周知が出来ていない。
50代女性	共同参加の幅（時間、日数、曜日）を広げて利用しやすくしてほしい。認知されるよう広報してほしい（必要としている人が利用できるしくみ）。必要としている人の意見を取り入れてしくみ（企画）を作ってほしい。利用できる場所を増やしてほしい（地域に必ずあると好ましい）。
70代以上女性	男女共同参画自体ほとんど知らない。言葉は知っているがその位もう少し市報等で0からおしえてほしい。ただ若い人と同じ様におぼえられないので何度もくり返しくり返し市報等で説明を。

⑤LGBT・多様性に関する意見

30代男性	LGBTを告白されると、ネガティブなイメージを持たれがちなのが残念に思います。特にトランスジェンダーの方は、身近な人には理解を得られても、社会の中で理解がまだまだ少なく、働きにくいのが現状だと思います。具体的に知らない方が多いので理解のしようがないのもあると思いますが、性にとらわれずその人の人間性、才能がまず認められ、働きやすく生活のしやすい世の中になればいいと思います。この活動が長く続いてほしいと思います。
40代男性	LGBT自らもGです。一般男女生活の中で隠し生活している事に違和感をずっと心に持ちこれからも世間が変わる事なく進んで行くのかと思うと人間の普通（男女関係）とは別の所に居る自分はこの先不安です。両親、親戚、兄弟、等..にどう受け入れてもらえるのか..カミングアウトすれば良いのでしょうか..日本では?まだまだ世間が許してくれない事、理解してくれないのが苦しいです。
40代女性	私自身がアセクシャルの為、参考にならない回答かと思います。マイノリティはまだ大きくしか認識されてないかと思います。アセクシャルだとパートナーや男女の役割については非常に回答しづらかったです。理解は求めませんがマイノリティは細分化されていると認識頂けると過ごしやすくなる方が多くなるのではないかと思います。
70代以上男性	男女共同参画については賛成に近いが「同性婚」などについては疑問に思っている。最近「同性婚」などの普及?について杉田水脈議員とか東京の?区長などの子供が出来なくなる心配の発言がありそれに対して反発の意見などあったりして従来の社会通念から激変しているように思う。上記二人の意見ももっともだと思う。男が男らしく女が女らしくない時代はある一面恐ろしいとは思う。

⑥労働・職場に関する意見

30代女性	身体能力として各性別が優れている部分は仕方ないとして、職業での重要ポストへの女性進出が増え、また責任だけで苦しむ男性が、生き易い環境へアクセスしやすい、仕事面での男女の平均化が進めば生きやすい社会になるのではと願っております。
50代女性	男女共同参画についてあまり深く考えたことがありませんでした。家事、育児介護等は性別に関係なく取り組むべきだとは思いますが、職業に関しては制約も必要ではと思います。特に母性を感じられるような助産師や保育士はやはり女性のみでできる仕事のように思います。男女は平等であるという前提を持ち、同質ではないことにも目を向けていくべきではないでしょうか…。何か矛盾している意見ですが。
50代男性	日本全体として労働時間の対価が少ないため、長時間労働にならざるを得ない。そのため過労を妻にさせないため男が外でという考え方もある（女性保ご）。女性自身の考え方もよるので社会に出た方が良い場合はその環境を整えるべき。（女性に向いている仕事も多い）そもそも個人の資質を見る時に男女を分けること自体がオカシイと思う。
60代女性	「女性が」と言われる世の中「市長が女性よ」と特別に形容される。女性自身も仕事を持ちパートナーと同等と言われると、女性として価値が下がる。もっと女性自身の意識を変化させないといけないと思う。定年まで働く女性は少ない。臨時パートではなく働くことが家事を怠ることではない。

⑦家庭生活に関する意見

30代男性	女性の社会参画のためには、専業主婦の存在をどうにかする必要あると思う。今だと大学生位でも専業主婦になりたいと言うし、仕事から逃げるための存在になっている。仕事をしないなら、間4や9のことを女性にやって欲しいと思うのは自然。一方、そういう女性は、その手の活動はやりたがらないが。
60代女性	日本では、両親が年老いていくと、長男が面倒を見るという風調がある。私の家庭でもそうだった。私の兄は小さい頃から「あなたは男一人だから」と母親は大切に育て、望むものを与えていた。両親と女5人男1人の8人家族で、常に「あなたは男の子」と母は言っていた。兄は病床にありながらも「長男だから親を見なければ」と言い、若くして他界した。親の子供への教育も考えるべきではあるが、女でも、親は、見られる人が見たら、いいと思う。いい機会を与えていただき、ありがとうございました。
70代以上女性	男の子が結婚出来る収入、仕事がない。結婚しても一人が忸らいて家族を養えるだけの収入のある仕事がない。女性も共に働かなければ家庭生活を送れない。家事も家計も両方が分担しなければ成立しない。子供も親が留守の家庭は男、女問わず手伝わなければ食事にありつけない。両親のうちどちらかが病死、事故死など子供の時にシングルになった時、収入の方は任えないので家事を手伝うしかない。家事は女性とっていられない事情の家庭が多いのではと思います。

⑧地域活動に関する意見

40代女性	制度や法律が出来ても会社や人の意識はなかなか変わらないのである程度は仕方ない様に思います。特に子育てやPTA等は女性がして当たり前という前提で動いているし「女性の方が向いている」と男性が思っているからむずかしいと思います。
60代女性	パート勤務中に体をこわし手術をしてから(腰)仕事に戻る体力もなく主人の介護も続けないといけなくなりアンケートにはあまり積極的な意見は出せなかった。もし現在も元気に働いていれば意見もまた違ったものになったかも知れない。仕事場は当然男性社会。家になることになってからも地域センター等に出入りする様になり、定年を向えた男性の方もたくさん好きな分野に参加している方が多い。しかし女性リーダーの方が、まとまりがある様に思われた。

⑨調査に対する意見

20代女性	男女共同参画に関してはありませんが、このアンケートの作り方が不親切であると感じました。広い世代を対象にしているにも関わらず、一部の人しか正確な回答ができないものが多いと思います。配偶者がいることを前提にしているものなど、もう少し工夫が必要ではないかと考えます。
30代男性	問5の質問がどうしても捉えられるので適切ではない。女性が優遇されすぎている。女性の問題は社会や男性が悪い。男性の問題は自己責任で片付けられる。この質問も女性のことばかりでうんざりする。男性のことがどうでもいいのだと感じる。
60代男性	アンケートの量が多すぎると感じました。(回答率も低いのでは)
70代以上女性	調査表無作為との事ですが、高齢。年齢を考えてはいかがですか。働く世代への質問が多く、…と思います。高齢の為、質問事項を少し考えます。回答に考えました。

V. スコア分析

1. 問5 ジェンダーに関する意識についてのスコア分析

【スコアの算出方法】

問5の設問内容は下記の通りとなっています。

① 人から危害を加えられそうになったとき、身を守るには、やはり男性でないとだめだと思う
② 親が病気や介護を必要とするとき、やはり女性が面倒をみるべきだと思う
③ 大地震や火事など緊急事態のとき、その場を取り仕切るのは、やはり男性でないとだめだと思う
④ 健康や生活に関わることがらに敏感なのは、女性だと思う
⑤ 重いものを運んでもらうとき、やはり男性でないとだめだと思う
⑥ 子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだと思う
⑦ 夫は家族のために収入を得る責任を持つべきだと思う
⑧ 子どもが病気などで苦しんでいるとき、それを我が事として感じとれるのは、やはり母親だと思う
⑨ 男性はむやみに弱音を吐くものではないと思う
⑩ 生活者優先の政治を本当に推し進められるのは、やはり女性議員だと思う
⑪ 最終的に頼りになるのは、やはり男性であると思う
⑫ 妻は家族のために家事や育児をする責任を持つべきだと思う
⑬ 妻は夫側の墓に入るべきだと思う

上記の13項目について、「そう思う」と答えた方は、性別による役割意識や、男性・女性に対してもつ先入観（ジェンダー・ステレオタイプ）が強いと考えられます。

そこで、「そう思う」に4点、「ややそう思う」に3点、「あまりそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点と、ジェンダーに関する意識を肯定するほど高い点数を与え、回答者一人ひとりについて合計点を算出しました。

13項目全て無回答のものは対象外としたため、各回答者は理論値で最小1点から最大52点のスコアを得ることになります。このスコアを「ジェンダーに関する意識スコア」と規定しました。

全回答者が得たスコア別の回答者数は表1の通りです。クロス集計を行うため、26点以下をジェンダーに関する意識「否定群」、27点以上39点以下をジェンダーに関する意識「中間群」、40点以上をジェンダーに関する意識「肯定群」の3グループに分けました。

回答者の分布は「否定群」が18.9%、「中間群」が61.8%、「肯定群」が19.3%となっています。

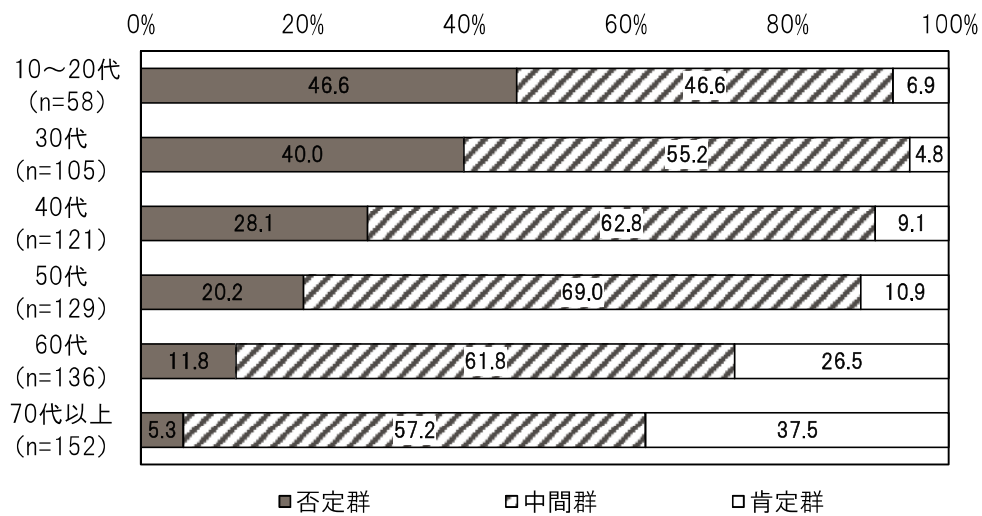
表1 ジェンダーに関する意識のスコア別回答者数

スコア	回答者数	カテゴリー	
3点	1	225人 18.9%	ジェンダーに関する意識 「否定群」
6点	1		
7点	1		
12点	1		
13点	6		
14点	3		
15点	3		
16点	5		
17点	4		
18点	9		
19点	11		
20点	14		
21点	20		
22点	18		
23点	32		
24点	23		
25点	36		
26点	37		
27点	46	735人 61.8%	ジェンダーに関する意識 「中間群」
28点	45		
29点	59		
30点	57		
31点	62		
32点	62		
33点	73		
34点	53		
35点	64		
36点	52		
37点	51		
38点	54		
39点	57		
40点	53	229人 19.3%	ジェンダーに関する意識 「肯定群」
41点	47		
42点	17		
43点	31		
44点	21		
45点	12		
46点	15		
47点	13		
48点	10		
49点	3		
50点	4		
51点	1		
52点	2		
無回答	7	—	—
合計	1196		

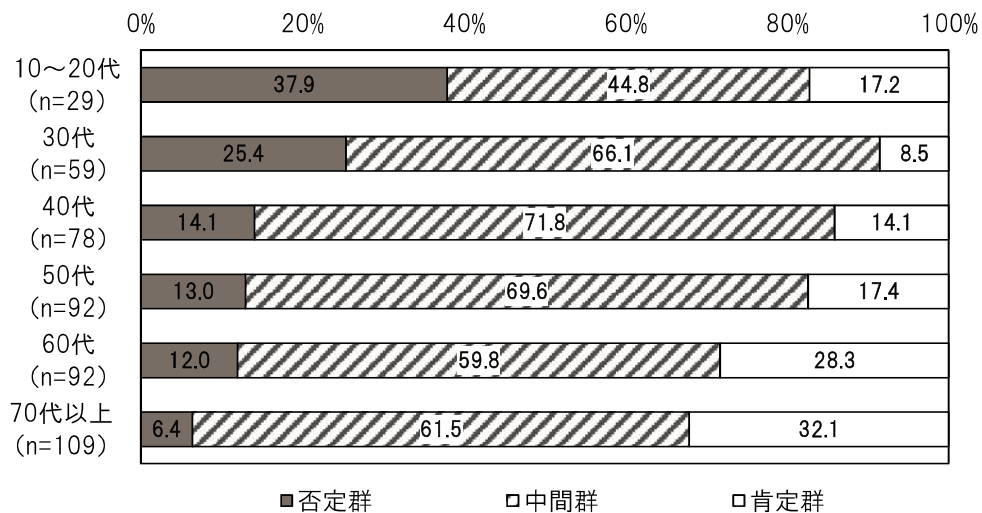
【性年代別でのクロス集計】

- ・性年代別でみると、10～20代の女性でジェンダーに関する意識の「否定群」・「中間群」が46.6%と同率で最も高くなっています。
- ・また、男女ともに概ね年代が上がるにつれ、ジェンダーに関する意識の「否定群」の割合が低くなり、「肯定群」が高くなる傾向がみられます。

【女性（n = 701）】



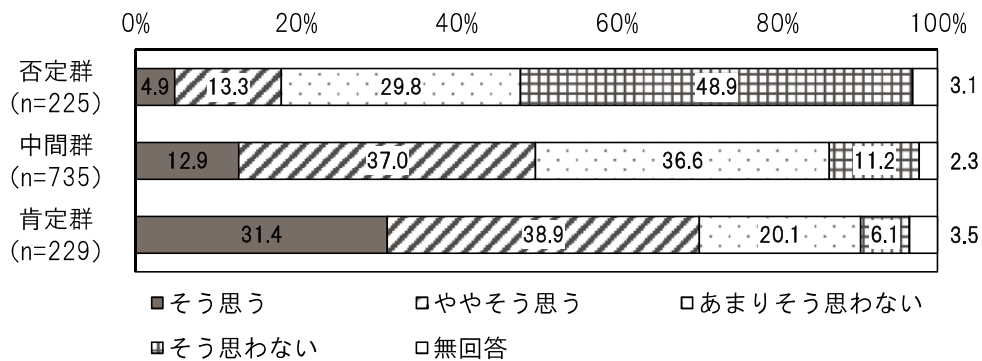
【男性（n = 459）】



【問 12 子育てについての考え方とのクロス集計】

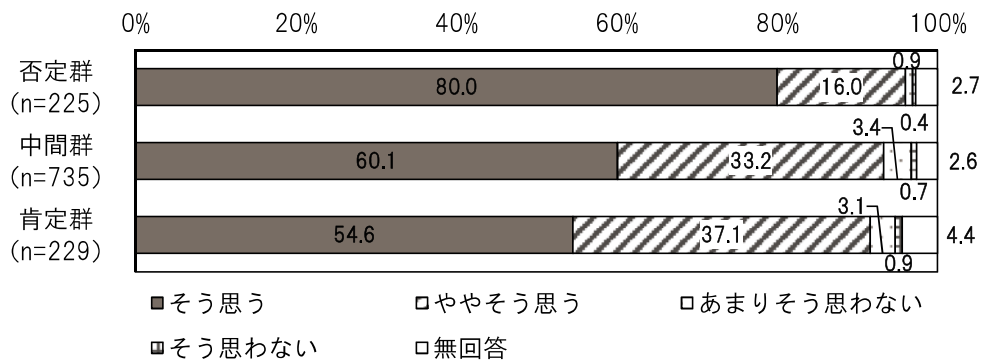
(1) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい

- ・男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよいという考え方については、ジェンダーに関する意識の「否定群」で「そう思わない」が48.9%と5割近くを占め最も高くなっており、「中間群」・「肯定群」では「ややそう思う」が最も高くなっています。
- ・また、「肯定群」においては、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が70.3%と、「否定群」(18.2%)と比較すると52.1ポイント高くなっています。



(2) 男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよい

- ・男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよいという考え方については、全ての群で「そう思う」が最も高くなっていますが、「否定群」において「そう思う」が80.0%と、肯定群(54.6%)より25.4ポイント高くなっています。



【問 16 男女共同参画に関する経験とのクロス集計】

・男女共同参画に関する経験については、「④地域でリーダー役を担っている女性がいる」・「⑧子どもの頃、親や教師など周囲の大人から「男は仕事、女は家事・育児」と言われたことがある」において「はい」と回答している人で、ジェンダーに関する意識の「肯定群」の割合がやや高くなっています。一方、それ以外の項目において「経験がある」人では、「否定群」の割合がやや高い結果となっています。

上段：実数、下段：%

		全体	ジェンダーに関する意識		
			否定群	中間群	肯定群
①学校で、男女共同参画に関する教育を受けたことがある	はい	169 100.0	56 33.1	93 55.0	20 11.8
	いいえ	976 100.0	159 16.3	622 63.7	195 20.0
②学校以外の場で、男女共同に関するセミナーを受けたことがある	はい	112 100.0	42 37.5	52 46.4	18 16.1
	いいえ	1036 100.0	177 17.1	662 63.9	197 19.0
③仕事で活躍している女性が身近にいる	はい	758 100.0	168 22.2	458 60.4	132 17.4
	いいえ	387 100.0	50 12.9	254 65.6	83 21.4
④地域でリーダー役を担っている女性がいる	はい	328 100.0	69 21.0	189 57.6	70 21.3
	いいえ	809 100.0	148 18.3	514 63.5	147 18.2
⑤家事・育児・介護等を行う男性を見たり聞いたりしたことがある	はい	754 100.0	166 22.0	457 60.6	131 17.4
	いいえ	392 100.0	52 13.3	256 65.3	84 21.4
⑥部下の仕事と生活の両立に理解があり、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司がいる	はい	393 100.0	119 30.3	230 58.5	44 11.2
	いいえ	724 100.0	93 12.8	467 64.5	164 22.7
⑦周りに1か月以上の育児休業を取得した男性がいる	はい	121 100.0	41 33.9	63 52.1	17 14.0
	いいえ	1009 100.0	173 17.1	643 63.7	193 19.1
⑧子どもの頃、親や教師など周囲の大人から「男は仕事、女は家事・育児」と言われたことがある	はい	631 100.0	104 16.5	368 58.3	159 25.2
	いいえ	523 100.0	115 22.0	348 66.5	60 11.5
⑨性の多様性に関するセミナーを受けたことがある	はい	121 100.0	50 41.3	60 49.6	11 9.1
	いいえ	1030 100.0	169 16.4	654 63.5	207 20.1

2. 問 14 男女共同参画施策等の認知度に関するスコア分析

【スコアの算出方法】

問 14 の設問内容は下記の通りとなっています。

①尼崎市男女共同参画社会づくり条例	②尼崎市男女共同参画計画
③尼崎市DV対策基本計画	④女性センター・トレピエ
⑤男女共同参画社会基本法	⑥女性活躍推進法
⑦尼崎市パートナーシップ宣誓制度	⑧ジェンダー
⑨DV	⑩デートDV
⑪マタニティ・ハラスメント	⑫リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
⑬LGBT	⑭SOGI
⑮ワーク・ライフ・バランス	

上記の 15 項目について、「言葉の意味や内容を知っている」に 3 点、「言葉は聞いたことがある」に 2 点、「知らない」に 1 点と、認知度が高いほどスコアが高くなるように点数を与え、回答者一人ひとりについて合計点を算出しました。

15 項目全て無回答のものは対象外としたため、各回答者は理論値で最小 1 点から最大 45 点のスコアを得ることになります。このスコアを「認知度スコア」と規定しました。

全回答者が得たスコア別の回答者数は表2の通りです。クロス集計を行うため、15点以下を認知度「低群」、16点以上30点以下を認知度「中間群」、31点以上を認知度「高群」の3グループに分けました。

回答者の分布は「低群」が7.6%、「中間群」が73.2%、「高群」が19.2%となっています。

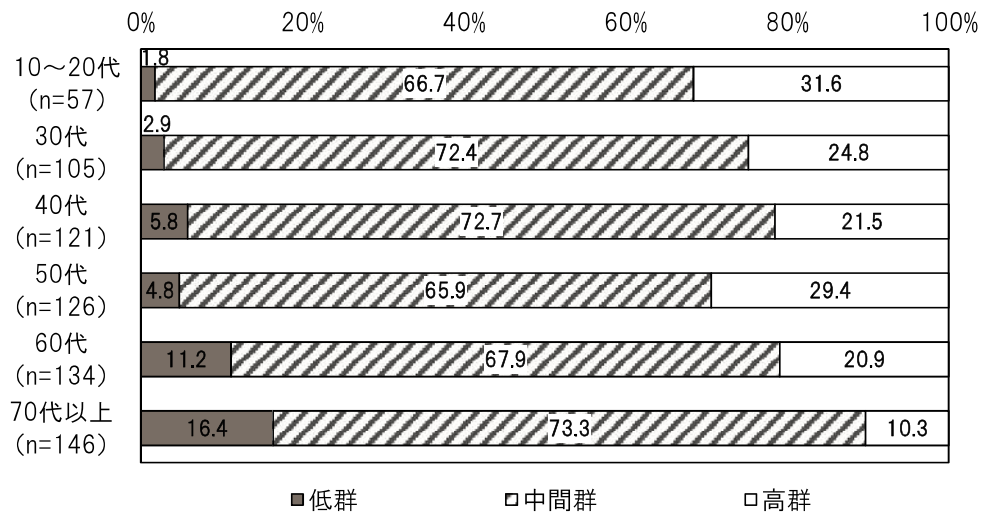
表2 男女共同参画施策等の認知度のスコア別回答者数

スコア	回答者数	カテゴリー			
1点	2	89 7.6%	認知度 「低群」		
2点	4				
3点	3				
4点	3				
5点	1				
6点	2				
7点	1				
8点	1				
9点	3				
12点	2				
14点	1				
15点	66				
16点	17			857 73.2%	認知度 「中間群」
17点	30				
18点	41				
19点	61				
20点	54				
21点	61				
22点	66				
23点	78				
24点	86				
25点	77				
26点	70				
27点	55				
28点	48				
29点	61				
30点	52				
31点	47	225 19.2%	認知度 「高群」		
32点	41				
33点	26				
34点	18				
35点	14				
36点	19				
37点	11				
38点	13				
39点	9				
40点	3				
41点	9				
42点	6				
43点	3				
45点	6				
無回答	25			—	—
合計	1196				

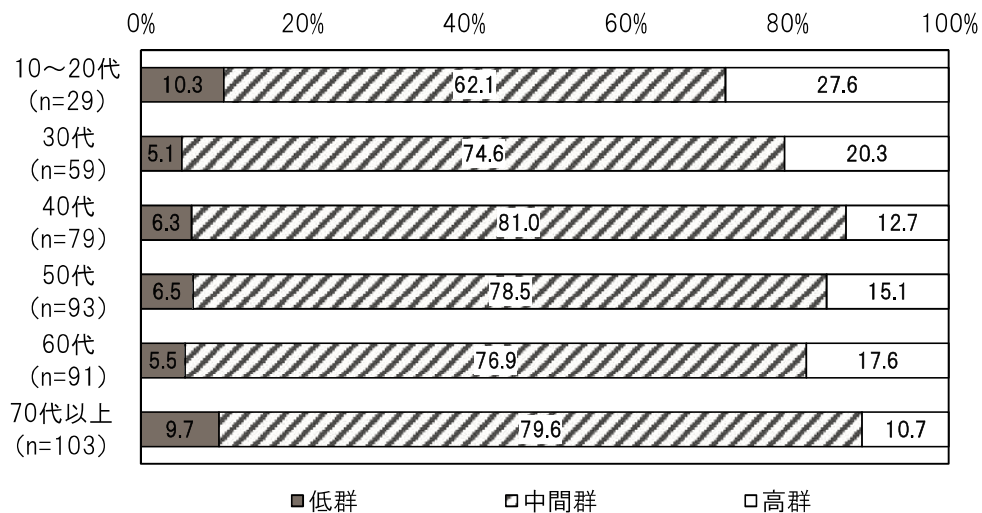
【性年代別でのクロス集計】

- ・性年代別でみると、70代以上の女性で認知度「低群」が16.4%とやや高くなっています。
- ・また、概ね年代が若くなるほど、男女共同参画施策等の認知度「高群」の割合が高くなる傾向がみられ、10～20代の女性では認知度「高群」の割合が31.6%と3割以上を占めています。

【女性（n=689）】



【男性（n=454）】



【問 16 男女共同参画に関する経験とのクロス集計】

・男女共同参画に関する経験については、「②学校以外の場で、男女共同に関するセミナーを受けたことがある」・「⑨性の多様性に関するセミナーを受けたことがある」において「はい」と回答している人では、男女共同参画施策等の認知度「高群」の割合が最も高くなっています。一方で、「③仕事で活躍している女性が身近にいる」・「⑤家事・育児・介護等を行う男性を見たり聞いたりしたことがある」において、「いいえ」と回答している人では、認知度「低群」の割合がやや高くなっています。

上段：実数、下段：%

		全体	認知度		
			低群	中間群	高群
①学校で、男女共同参画に関する教育を受けたことがある	はい	168 100.0	10 6.0	101 60.1	57 33.9
	いいえ	972 100.0	65 6.7	742 76.3	165 17
②学校以外の場で、男女共同に関するセミナーを受けたことがある	はい	112 100.0	4 3.6	48 42.9	60 53.6
	いいえ	1031 100.0	69 6.7	797 77.3	165 16
③仕事で活躍している女性が身近にいる	はい	754 100.0	33 4.4	533 70.7	188 24.9
	いいえ	384 100.0	42 10.9	306 79.7	36 9.4
④地域でリーダー役を担っている女性がいる	はい	326 100.0	14 4.3	210 64.4	102 31.3
	いいえ	805 100.0	61 7.6	626 77.8	118 14.7
⑤家事・育児・介護等を行う男性を見たり聞いたりしたことがある	はい	751 100.0	35 4.7	534 71.1	182 24.2
	いいえ	389 100.0	42 10.8	307 78.9	40 10.3
⑥部下の仕事と生活の両立に理解があり、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司がいる	はい	393 100.0	10 2.5	270 68.7	113 28.8
	いいえ	720 100.0	59 8.2	554 76.9	107 14.9
⑦周りに1か月以上の育児休業を取得した男性がいる	はい	119 100.0	3 2.5	67 56.3	49 41.2
	いいえ	1006 100.0	69 6.9	765 76.0	172 17.1
⑧子どもの頃、親や教師など周囲の大人から「男は仕事、女は家事・育児」と言われたことがある	はい	626 100.0	39 6.2	450 71.9	137 21.9
	いいえ	521 100.0	38 7.3	396 76.0	87 16.7
⑨性の多様性に関するセミナーを受けたことがある	はい	121 100.0	2 1.7	48 39.7	71 58.7
	いいえ	1024 100.0	73 7.1	798 77.9	153 14.9